3. 船舶安全管理システム規則及び関連実施要領、国際航海に従事しない船舶又は総トン数500トン未満の船舶の安全管理システム規則実施要領並びに船舶保安システム規則実施要領における改正点の解説 (証書等の書式の改訂)

1. はじめに

2008年12月26日付一部改正により改正されている船舶安全管理システム規則及び関連実施要領、国際航海に従事しない船舶又は総トン数500トン未満の船舶の安全管理システム規則実施要領並びに船舶保安システム規則実施要領中、証書等の書式の改訂に関する事項についてその内容を解説する。本改正は、2009年1月1日から適用されている。

2. 改正の背景

2005年5月に開催されたIMO第80回海上安全委員会(MSC80)において、決議MSC.195(80)及び決議MSC.196(80)が採択され、安全管理システム及び船舶保安システムの審査合格後に発行される証書等の書式が変更されたため、当該書式の変更に対応すべく関連規定を改めた。また、審査合格後に本会が作成する登録原簿の記載事項に関する規定等の整理も併せて行った。

3. 改正の内容

(1) 証書等の記載事項

- (a) 安全管理システム規則に定める適合書類(DOC)、仮適合書類(仮DOC)、安全管理証書(SMC)及び仮安全管理証書(仮SMC)の様式並びに同実施要領に定めるこれらの証書等の記載事項に関し、新たに「国際海事機関会社識別番号(Company identification number)」を追加した。
- (b) 安全管理システム規則実施要領に定める証書等の記載事項に関し、新たに導入される「国際海事機関会社識別番号」と区別するため、「IMO番号」を「国際海事機関船舶識別番号」に用語を改めた。

(c) 安全管理システム規則実施要領に定めるDOCの記載事項として、「DOCの基となる審査が完了した日」を追加した。また、同要領に規定のSMCの記載事項として、「SMCの基となる審査が完了した日」及び「会社の名称及び住所」を追加した。

(d) 国際航海に従事しない船舶又は総トン数500トン未満の船舶の安全管理システム規則実施要領に定める適合認定書及び船舶安全管理認定書の記載事項についても上記(b)及び(c)と同様の改正を行った。

(2) 登録原簿の記載事項

(a) 船舶安全管理システム規則実施要領に定める会社登録原簿及び船舶登録原簿の記載事項として、新たに「国際海事機関会社識別番号」を追加した。

(b) 安全管理システム規則実施要領及び船舶保安システム規則実施要領に定める船舶登録原簿の記載事項に関し、新たに導入される「国際海事機関会社識別番号」と区別するために、「IMO番号」を「国際海事機関船舶識別番号」に用語を改めた。

(c) 船舶保安システム規則実施要領に定める会社登録原簿の記載事項に関し、DOC番号及びSMC番号は少なくとも5年に1度変更されるため、記載事項すべき要目として適当でない。このため、「DOC番号」及び「SMC番号」の代わりに、「ISM船舶登録番号」を記載するよう改めた。

(d) 国際航海に従事しない船舶又は総トン数500トン未満の船舶の安全管理システム規則実施要領に定める登録原簿の事項についても上記(b)及び(c)と同様の改正を行った。

(3) その他

安全管理システム規則実施要領4.1.4-2.及び国際航海に従事しない船舶又は総トン数500トン未満の船舶の安全管理システム規則実施要領4.1.4-2.の規定に関し、当該規定の基となっているIACS PR No.9附属書1の内容に合せるべく、語句等の修正を行った。